

令和6年度 園経営計画 足立区立平野保育園

園長 上岡 淳子

1 園の経営目標

- (1) 保育者は、子ども一人一人の思いを大切にし、子どもの人権を尊重する。子どもが保育者との関わりの中で、受容されている安心感をもち、人を信頼する気持ちをもたせていく。
- (2) 保育者は、子どもが遊びたくなる環境を構成し、知的好奇心を育み、自己発揮できる子どもを育てる。
- (3) 保育者は子どもの姿を保護者と共有し、保護者の思いに寄り添いながら子育てを支えていく。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは保育者に見守られながら伸び伸びと過ごし、安心感を土台に友達との関わりを広げている。職員同士の連携も良好で、全職員で全園児を見守っている。
- (2) コドモンの導入により、活動記録や連絡帳などで画像による配信が増え、より具体的に園の様子を保護者に伝えることができている。子育ての悩みを受け止め、子どもの意欲や成長した嬉しい姿などを伝え合いながら保護者との対話を大切にしている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	伸び伸びと自己表現ができるようにする。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 基本的人権と「生命の安全教育」について理解を深める。	ア 人権教育や「生命の安全教育」の進め方について月に1回話し合い、職員間の共通認識を図る。 イ 排泄や着脱時等でプライベートゾーンを配慮した環境を整え、子どもの人権を尊重して関わる。
(2) 子ども一人一人を大切にし、自己肯定感を育む。	ア 一人一人の良さを生かし、状況、背景、その時の思いを把握し、やりたいことが実現するよう受け止める。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	子どもが思わず遊びたくなる環境をつくる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの主体性を大切にしてい、心も体も十分に動かして遊べる環境を取り入れていく。	ア 子どもが自ら環境に関わる状況や遊んでいる姿を捉えて月に1回検証し、自分のやりたいことや面白いと思うことに夢中になって遊べる環境をつくる。 イ 粗大運動を促す運動遊びや、試行錯誤しながら楽しむ遊びを取り入れていく。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	食事をおいしく感じられるよう、生活リズムと日中の活動を大切ににする。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 十分に活動することで空腹を感じ、おいしく食べられるようにする。	ア 一人一人の生活リズムと日中の活動を把握し、食べ具合や盛り付け方などに配慮し、食べる意欲につなげていく。 イ 子どもの状況に応じ、様々な食材に少しずつ慣れていく過程を大切にしてい、安心して食べられることを支える。
(2) 食材との出会いを大切にし、「見る、触る、においをかぐ、味を知る」経験を食事への関心につなげる。	ア 食材やメニューが子どもにとって身近に感じられる活動を年に5回以上取り入れる。 イ 食育活動の様子をコドモンで配信し、保護者に伝えていく。